

各市町の研究活動状況等調査票

I 市町の研究活動状況 【 刈谷市 】

1 活動の概要について

研究組織の名称	刈谷市教育研究会 学校事務専門委員会
組織の構成員	校長1名 事務職員30名
開催回数	年11回
活動方法（ここ数年の）	テーマに沿って、全体を2つの班に分けて研究する。 必要に応じてさらに小グループに分けて研究する。 各グループ長が毎月進捗状況を報告し、全員で目標達成への努力をする。 活動の記録や資料データを市役所のファイルサーバーに保管し、研究のまとめとする。

2 昨年度の活動について

(1) 研究テーマ

学校運営への参画と事務の合理化・効率化を目指して

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①	事務改善
テーマ設定理由	学校事務職員が学校運営に積極的に関わるために、学校事務の合理化と効率化を研究するため。
方 法	3つの小グループ（企画委員会グループ、文書手引グループ、パソコンフォームグループ）に分かれて研究を進める。 またその成果を、メールや共有サーバーを通して、全員に配付する。
年間の成果	企画委員会グループ：企画委員会・職員会での提案、及び職員へのサービスの周知を図る資料として、「事務部運営計画表」、「次年度予算要求について」、「備品点検について」を作成、配付。 文書手引グループ：『文書事務の手引き』、『文書分類表』、『チェックリスト』の改訂。『新しく職員になられた方へ記載例集』、『新しく職員になられた方へ事務だより集』の改訂、新規採用者に配付。 パソコンフォームグループ：「市内共有ファイル」について、フォルダーの整理及びフォルダーの整理についての検討。「ル

	一チン業務文例集」について、内容の検討と資料収集。
今後の課題	各グループの研究内容による負担の偏りがあること。 資料作成や改訂におけるチェック機能の強化や、LAN を利用できない環境でのパソコン作業の方法について検討すること。

研究グループのテーマ②	共同実施
テーマ設定理由	教員が子どもと向き合う時間を確保するために、学校事務の効率化と高度化を検討するため。
方 法	共同実施の市内4ブロックのブロックリーダーである総括事務長を含むメンバーで、各ブロックの共同実施の内容、方法、課題などの共有と検討および、事務効率化委員会への提案内容の協議。
年間の成果	各共同実施ブロックの活動内容の情報交換・成果の共有。 事務効率化委員会での報告と、要望のとりまとめ。
今後の課題	兼務発令が発令された場合の、共同実施における決裁及び事務の研究と実践。

3 今年度の活動について

(1) 研究テーマ

学校運営への参画と事務の合理化・効率化を目指して

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①	事務改善						
テーマ設定理由	学校事務職員が学校運営に積極的に関わるために、学校事務の合理化と効率化を研究するため。						
構想図の課題	<table border="0"> <tr> <td>1 財務運営</td> <td>② 情報管理</td> <td>③ 組織運営</td> </tr> <tr> <td>4 地域連携</td> <td>5 教育活動支援</td> <td></td> </tr> </table>	1 財務運営	② 情報管理	③ 組織運営	4 地域連携	5 教育活動支援	
	1 財務運営	② 情報管理	③ 組織運営				
4 地域連携	5 教育活動支援						
	<table border="0"> <tr> <td>Ⓐ 正確な事務処理</td> <td>Ⓑ 事務改善</td> </tr> <tr> <td>Ⓒ 能力開発</td> <td>Ⓓ 職場研修の充実</td> </tr> </table>	Ⓐ 正確な事務処理	Ⓑ 事務改善	Ⓒ 能力開発	Ⓓ 職場研修の充実		
Ⓐ 正確な事務処理	Ⓑ 事務改善						
Ⓒ 能力開発	Ⓓ 職場研修の充実						
方 法	2つの小グループ（文書手引・文書集配記録簿グループ、チェックリストグループ）＋別働隊（31年度新しく職員になられ						

	た方へ記載例集作成グループ) に分かれて研究を進める。 またその成果を、メールや共有サーバーを通して、全員に配付する。
--	--

研究グループのテーマ②	共同実施	
テーマ設定理由	教員が子どもと向き合う時間を確保するために、学校事務の効率化と高度化を検討するため。	
構想図の課題	今日的課題	1 財務運営 2 情報管理 ③ 組織運営 4 地域連携 ⑤ 教育活動支援
	経常的課題	① a 正確な事務処理 ② b 事務改善 c 能力開発 d 職場研修の充実
方 法	共同実施の各ブロックリーダーを含めたメンバーで、共同実施の方法や内容について共有、検討する。	

4 研究組織と市町教育委員会との連携

「文書事務の手引き」「文書分類表」および「会計事務の手引き」の改訂において、改訂案を学校事務専門委員会で作成後、市教委に提出し、検討してもらう。
--

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

事務部門強化の加配校が市内全校と連携し、事務改善に努めている。

6 各市町において、事務職員（全員または一部）が参加した会議及び研修会について

平成29年度		平成30年度	
名 称	給与事務連絡会議	実施の有無	① 有 無
主 催	刈谷市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員29名	実施内容	(予定) 前年度と同様
実施回数	毎月1回		

実施内容	多方面での研修（会議の構成、研修内容は事務職員が決定） 共同実施		
------	-------------------------------------	--	--

平成29年度		平成30年度	
名 称	刈谷市小中学校事務効率化委員会	実施の有無	(有) 無
主 催	刈谷市教育委員会 (事務局は各共同実施ブロックリーダーをはじめとした事務職員4名で構成)		
参加者(対象者)	刈谷市教育委員会代表4名 校長代表2名 教頭代表1名 教務主任代表1名 校務主任代表1名 養護教諭代表2名 事務職員代表4名	実施内容	(予定) 各部事務効率化に関する検討
実施回数	学期に1回		
実施内容	校務支援ソフト(スクールオフィス)の更新についての検討、情報管理セキュリティについての検討、年度末年度初めの事務の効率化についての検討など		

平成30年度 新規に実施予定	
名 称	なし
主 催	
参加者(対象者)	
実施回数	
実施内容	

